



【新年の挨拶】



押上一丁目仲町会
町会長高橋邦夫

新年明けましておめでとうございます。町会の皆様におかれましては良い新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年も町会活動に対しまして各事業部、地区部長をはじめ皆様方にはなにかとご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は「政権交代」「新型インフルエンザの流行」など私達の毎日の生活にすぐに結びつくとても大きな出来事がありました。一向に良くなりません。日本経済、一歩外へ出れば不景気の話ばかり強調された年でした。

今年にはトラ年にあやかり是非とも良い年になって欲しいですね。私達の町のスカイツリーも二八一メートルになりました。このところ毎日工事中のタワー撮影者で混雑し完成が楽しみです。

町会の皆様には今年も一層のご協力の程役員一同心からお願いいたします。

【総務部】

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられて良いお正月を過ごされたことと推察いたします。

昨年は、会員名簿の（見直し）作成や地区部長へ「回覧資料」の配布等、「掲示板」にいろいろな資料の添付作業等を実施いたしました。目立たない地味

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 山本 勝信

第四十三号

平成二十二年一月三十一日

な仕事ですが重要な内容を伝達いたしております。

【婦人会】

明けましておめでとうございます。いつも廃品回収にご協力いただきありがとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

毎年恒例の「新年会」を一月二十一日（木）浅草柳通りの日本料理店「川風」で行いました。会員総数四十名のうち、二十三名の参加で、和気あいあいと会話も進み楽しいひと時でした。料理の方も上品でたくさん美味しい品が出て、お洒落で見た目も美しく味も大満足でした。

ビンゴゲームでは、賞品が現金なので（一番ほしいもの）空くじなしでみなさん大盛り上がりでした。参加された皆様ありがとうございました。また、春には、日帰り旅行も計画したいと思っておりますので、ご希望等ありましたら、どんどんお知らせください。決定次第ご通知申し上げますので、その節には、皆様の多数のご参加を心からお待ちしております。

婦人会に入会していただける方がいらっしやいましたら、いつでもお知らせいただければ幸いです。

なお、私事ですが、今年度で「会長」を退任することになりました。七年間務めさせていただきましたが、何にもできず、至らないところや気が利かないところ等、多数あったことと思います。会員の皆様のご協力、助言等があった七年間務めることができました。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年度からは、大泉弘子さんが「会長」に決まっておりますので、よろしくお願いいたします。

【リサイクル推進たより】

リサイクル活動にご協力いただきありがとうございます。

皆様のゴミ収集場所に捨ててはいいけないもの、収集日ではない日にゴミが捨ててあったりしてはいないでしょうか。

先日、私の家の隣空き地にテレビが捨ててありました。あまりにもマナーがない人で腹がたつてあきれ

しまいました。

当町会には、そういう人は、いないと思いますが、絶対に不法投棄などしないようにマナーは必ず守っていただきたいと思えます。

【新穂庵】

押仲町内に小さなギャラリイが誕生しました。前町会長細川さんのピルの地下一階にかわいいギャラリイが出来ましたのでぶらぶら散歩がてらに立ち寄っては如何でしょうか。細川さんが長年収集された焼物や輪島塗の額などなど、楽しみです。「新穂」について細川さんに聞いてみたらふるさとの「村の名」だそうです。ご本人も七十才を過ぎると人生の過去を語る時間が多くなり、ここでも癒しの空間を持ちたいと思う様になり、自分好みの小さなギャラリイを作られたそうです。どうぞお暇な時は立ち寄って下さい。美味しい緑茶で新タワーやいろいろな雑談で時を過して下さいとのことでした。

ちなみに村の正式名はニイボ村です



【秩父札所めぐり(4)】

石田輝雄

秩父札所めぐりも四回目になる。今回は家内共々小型のリュックサックを背負って出掛ける事にした。西武秩父駅に降りてから帰りの乗車券等求めてから西武バス一番乗り場でバスを待つ。

今日は小鹿野経由栗尾行きに乗車する。今日は小鹿野経由栗尾行きに乗車する。十時十五分の発車だ。秩父鉄道の秩父駅からバスは秩父橋の方向に向かって走る。発車してから十分足らずで相生着下車する。少し歩いてから二股路を右の方へ進む。十数分歩いた所から右折する。無人踏切を渡ると、やがて国道一四〇号線に出る。歩行者用の信号ボタンを押して青になるのを確認して向こう側へ渡る。そして右へ歩く。

グリーンの看板十八番札所と記してある。左側が十八番寺だがこの辺りばかり住宅も接近している。街中と言う感じ。十時五十分着。早速お参り。寺伝によると昔は神社であったが荒廃して無くなり村民達はそれを惜しんで再建しようと神楽を奉納していたら巫女に靈感があつて寺を建てる様とお告げがあつた。村民達はそれ以来阿弥陀によって刻まれたと言う聖観世音を安置し霊場とした。

寛政の頃の火災で寺の総てが焼失し、寺歴を詳しく知る事は出来ぬ由。此の観世音は天保の頃、秩父の匠藤田若狭の晩年の作と言われていると正面の寺号の額は森光黄齊の彫刻との事。本堂をとり巻く回廊は秩父札所にいくつかわるが此処も其の一つである。

本堂左手に納経堂があり根付筆も置いてあつた。十八番札所。白道山神門寺(曹洞宗) 御本尊は聖観世音菩薩。お参り済ませ通りへ出、今来た道を戻る。無人踏切を渡り突当りを右へ曲がる。しばらく進むと右側に大野原医院。その先を左折して荒川に向かつて

下る。突当りを右へ曲がる。桑畑が散見される。緑の新葉が出ている。通りから左に入った所が十九番寺。十一時二十分到着した。境内に六地藏が並んでいる。此の寺の境内は岩石を敷きつめた様な岩盤で出来ている。

縁起によれば日照りの年に降雨を祈つたらこの盤石が割れて龍雲がたちのぼり大雨が降り農作物は生返りその年は豊作だったと。又寺が火災にあつた時も龍雲が舞い上つて雨を降らせ災いを除いたと言う。昔は秩父札所中の一の寺に巡礼の人々の秩父の人達は何を祈っているのか、の声があり町内の人達の努力で再建復興にかかり昭和四十八年秩父霊場の中では大伽藍の一つである本堂造営復興をみたのだとの事。

昔は此処から対岸の二十番寺の渡し舟(染場の渡し)で向こう側へ渡つたと。十九番札所飛淵山竜石寺(曹洞宗) 御本尊は千手観世音菩薩。竜石寺は無住の為納経所は今来た道を進み十文字を右へ上つた所にある宗福寺である。酒屋の人に聞くと直ぐ近くだと言われたが田舎での直ぐとは案外遠いものだ。

宗福寺は仲々立派な寺であり境内も広く大きな天狗の下駄も二足飾つてあつたと此の寺の住職が記帳して下さつた。十文字迄戻り其のまま直進すると荒川に架かる秩父橋に出た。車の通る橋は前方に在り。此処から真直ぐに右側の袂に出る。遊歩道の様なモダンな橋を渡り向こう側に出る。道は国道二九九号線だ。向側へ渡る。左側に昔の秩父橋の石柱があつた。小道を登る。やがて左下に立派な観音堂の屋根が見えてきた。石段を降りる。

此の寺は寺名が無く昔から岩の上堂と呼ばれている由である。十二時着。お参りをし記帳して頂く。此の観音堂

は秩父札所の中で一番古い建物で江戸初期の造営とか。言堂主の内田家の先祖、打武左衛門尉政勝が自らの資金で二十五年の歳月をかけ完成したとの事。此の村の貧しい子持ちの婦人が生活に困り、ある家に乳母として通つていたが我が子に乳があたえられずそれを哀れんで子供と共に荒川に身を投げ命を絶とうとした時「あの岩の上堂の下からたれ落ちる水を飲めば乳は豊富に出る」という声が出た。婦人が此の水を飲むと乳房は張り乳はほとばしり子供は元気になったと言う縁起があると。これを乳水場と言う霊水の事。行つてみようと尋ねたら岩の下迄行くのは足場が悪いからと言われあきらめる事にした。

二十番札所、法生山岩の上堂(臨濟宗) 御本尊は聖観世音菩薩、石段を登り道を左へ進むやがて右側に二十一番寺。十二時二十五分着。お参りをし左手の納経所で記帳して頂く。本堂は二階建ての様だ。正面に矢の堂と記してありその下に大きく二十一番と額が上がつている。大正十二年 隣接の小学校の火災で類焼し。其の后倉尾根で廃寺になった建物を公費でもって移築したので現在の本堂との事。矢の堂とは秩父郡神泉村(矢納村)にあり。其の名の起こりは日本武が東征した時、矢を納めて社を建てた事によるとの由。

二十一番札所 要光山観音寺(真言宗) 御本尊は聖観世音菩薩、さて昼はとうに過ぎてゐる。勿体無い気もするが此の境内は道路沿いなのに静かだし昼食をさせて頂く事にした。少し風がある。で道路側の塀を風よけのつもりで此処に持参のレジャーシートを敷き場所を作る。家内が水を汲んでくる間、携帯用のコンロをセットし湯を沸かす準備をする。湯が沸く迄水割りを作つて少々喉しめし、之が又殊の外おいしいのだな。魚の缶詰を開いたり、お新

香を喰べたり。天気も上々。おいしく頂いた昼食ではある。約四十分程費やした。十三時五分さあ出発しよう(つづく)

【 O S T 】

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられて良いお正月を過ぎましたとお祝い申し上げます。さて昨年の十二月四日は墨田区老人クラブ連合会の日帰り旅行でアサヒビール守谷工場見学とギネス認定の大きな大仏様の牛久大仏を見学してまいりました。十四名参加でした。不参加の方達には「こんぶの詰め合わせ」等を配りました。十二日には忘年会を致しました。二十四名参加で大増のお弁当美味しかったでしょう。皆でお喋りしたり唄を歌つたりして、最後は楽しみなビンゴゲームで皆さん中身は如何でしたか。年が明けて墨老連新年会にはOSTから五名出席しました。二十四日には十二月生まれ、一月生まれの方達の誕生会を致しました。誕生者は十八名でその中出席者は五名おられました。お喋りしたりお茶菓子を食べたり。そうそう梅酒も飲んだりしてとても楽しく時を過ぎて皆で唄を歌って帰りには植木鉢を戴いて帰りました。欠席の方にも植木鉢を届けました。

平素より子供会へのご理解ご協力をいただきありがとうございます。さて昨年引越されたご家庭があり、この春卒業生一名・新入学生一名を数えでも来期は計三名・二世帯となつてしまします。

登校班は二世帯では集団登校と言えず、旗当番を含め来期は継続不可能と判断。高橋町会長・沖山顧問のお力添えにより、押一町会長・吉野顧問・子供会長の会合を設けていただき、少子化へのご理解を得て、児童の安全を第一にと押一

町会登校班へ合併をお願いし、ご協力いただけることになりました。PTA本部委員・交通校外委員の方の全面協力の下、副校長先生・PTA会長の会合で了承を得、手続きを進めてまいりました(会員数が五世帯数を超えた時点でしらとり子供会登校班を再開するつもりです)。

この三月(新一年生加入前)より練習を兼ね押一から登校いたします。これからもあたたかい目で、子ども達の登下校を見守っていただけると大変嬉しく思います。昨年お祭り後の会合にて、子供会が抱える少子化問題について相談させて頂いた際、しらとり子供会創設者の安藤様をはじめ町会の役員の皆様より大変なご心配と熱い激励のお言葉をいただきました。とても心強く様々な問題を乗り越えていく力になりましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

【 福利厚生部 】

本年度の敬老祝いは五十二名、成人祝いは二名でした。

【 編集後記 】

タワーの高さが目立つ。西方向の駒形橋から見ると午後の姿は白くクッキリと、木根川橋(四つ木橋の下流)からの眺めは下町にそびえる未来への期待に映る。墨田区も東京スカイツリーを大いに利用して、地域の活性化を進めて欲しいようだ。

それなら何か始めますか? ご期待にお応えして!

